大浜第一病院広報誌
笑顔 スマイル
7月号 | 毎月1日発行〈第88号〉
2017年7月1日（土）
発 行 大浜第一病院 広報委員会
発行責任者：大 城 康 一
〒900-0005
沖縄県那覇市天久 1000 番地
TEL.(098)866-5171
FAX.(098)864-1874
http://www.omotokai.or.jp/ohama1/
大浜第一病院HP

「総胆管結石」とは？

消化器内科医師
池原(いけはら) 龍一郎(りゅういちろう)

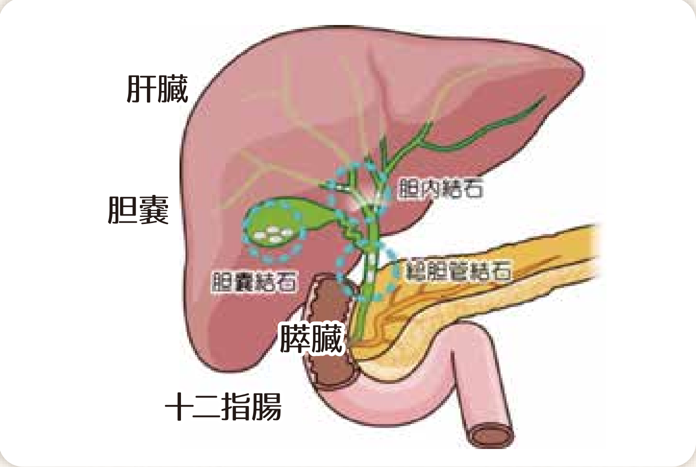
みなさんは総胆管結石（そうたんかんけっせき）って、お聞きになられたことはあるでしょうか？

一般的に胆石があるとか胆石の手術をうけたとか言われる場合は「胆のう結石」のことをいっている場合がほとんどだと思われます。

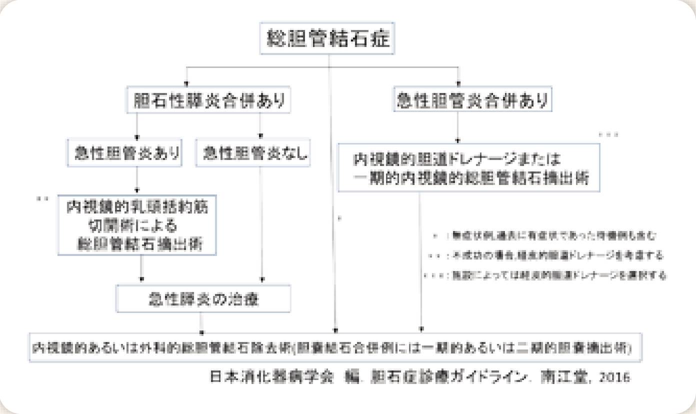
まず、胆汁とは肝臓で作られる消化液で胆のうで濃縮され、総胆管（そうたんかん）を通って十二指腸へ流れます。胆石は胆汁のなかに含まれているコレステロールやビリルビンが結晶となり大きくなってできたものです。
そして、胆のう内にできた石を胆のう結石、肝臓内の胆管にできた石を肝内胆管結石、胆のうから総胆管に出てきた石や、総胆管にできた石を、総胆管結石と区別しています。

総胆管結石の特徴としては、平均年齢は 72.7±13.9 歳（胆のう結石 :63.9±15.3 歳）で初発症状は症状なし (24.3%)、腹痛・背部痛 (63.9%)、発熱 (25.7%)、嘔気・嘔吐 (10.4%)、黄疸 (16.7%) と発熱、腹痛などの症状があることが多いですが、約 1/4 は無症状です。診断方法としては US(54.7%)、CT(80.6%)、MRCP(30.9%)、EUS(3%)、DIC(1.3%) で主に US と CT 検査で診断することが多いです。
（日本胆道学会学術委員．胆石症に関する 2013 年度全国調査結果報告 編. 胆道 2014)
※US: 腹部超音波検査、MRCP: Magnetic Resonance cholangiopancreatography の略で、MRI 装置を用いて胆嚢や胆管、膵管を同時に描出する検査、EUS：超音波内視鏡検査、DIC：点滴静注胆嚢胆管造影

治療としては内視鏡的治療、外科的治療（開腹手術、腹腔鏡下手術）、経皮経肝的治療が挙げられますが、下記フローチャートのようにガイドラインにそって治療方針を決定します。



総胆管結石症の多くは黄疸や腹痛の症状がみられ、急性胆管炎を合併することも多いです。しかし、たとえ無症状であっても、急性胆管炎の合併により重症化して致命的となる可能性もあります。 無症状の総胆管結石症は年齢や ADL や基礎疾患、全身状態などを考慮して経過観察となることもありますが、いずれ胆管炎を生ずるので総胆管結石の治療を行うことが勧められています。 健康診断や人間ドックなどでたまたま総胆管結石を発見された場合や以前胆のう結石を指摘されたことがあって発熱＋腹痛などの症状がある場合は、当院消化器内科にお気軽にご相談ください。



セルフケア・カレッジ開催レポート

５月２３日（火）に当院のふれあいホールにてセルフケア・カレッジ（健康講演会）が開催されました。「あなたの生理痛、本当に普通ですか？ ～放っておくと危険かもしれない～」と題して女性腹腔鏡センター長　徳嶺辰彦医師が講演を行いました。生理痛は多くの女性が経験しておりますが、痛みによって悪性の病気の可能性があり気をつけなければいけません。悪性の病気である子宮頸がんや子宮筋腫の話からそれらの治療法である腹腔鏡手術を中心に講演が進みました。参加された女性が多く興味津々に講演を聞かれていました。

これらの詳しい内容をご覧になりたい方は、健康せいかつ図書室（１階）にて講演会の動画を視聴できますのでぜひご利用下さい。

セルフケア・カレッジは毎月第４火曜日に開講しており、今月は２５日（火）の１９時から海外での医療経験を持つ岡田　祥一医師が講演を行います。病院スタッフ一同、あなたの健康管理の力となります。セルフケア・カレッジへのご参加をお待ちしております。

大浜第一から全国へ！ 情報発信 UPDATE

大浜第一病院では、当院で得た知見を積極的に全国学会や学術誌で報告し、医学・医療の発展、また一般の方々への啓発活動に寄与しています。

４月

第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会（札幌市）
野原　博和（整形外科・医師）

第 114 回日本内科学会講演会（東京都丸の内）
大城　康一（循環器内科・医師）

第 22 回日本口腔ケア学会総会・学術大会（宜野湾市）
新谷　晃代（歯科口腔外科・医師）
宮國　真梨子（歯科口腔外科・歯科衛生士）
奥原　ひろ美（歯科口腔外科・歯科衛生士）

第 105 回日本泌尿器科学会総会（鹿児島市）
我喜屋　宗久（泌尿器科・医師）

整形外科と災害外科 別冊 第66巻第１号（誌上発表）
野原　博和（整形外科・医師）

看護の力 第 23 巻 469 号（誌上発表）
津嘉山　みどり（看護管理室・看護師）

ナースマネジャー 第 19 巻 2017 年４月号（誌上発表）
津嘉山　みどり（看護管理室・看護師）

５月

第 93 回日本消化器内視鏡学会総会（大阪市）
伊志嶺　真達（消化器内科・医師）

第 52 回日本理学療法学術大会（千葉市）
久場　美鈴（リハビリテーション科・理学療法士）

第 46 回日本ＩＶＲ学会総会（岡山市）
西尾　康孝（放射線科・放射線技師）

第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会（名古屋市）
髙橋　隆（糖尿病センター・医師）
酒井　拓（糖尿病センター・医師）
山城　裕子（外来・看護師）
前田　睦子（外来・看護師）
安里　恵美子（栄養給食科・管理栄養士）
久場　美鈴（リハビリテーション科・理学療法士）

第 90 回日本整形外科学会学術総会（仙台市）
野原　博和（整形外科・医師）

第 27 回日本臨床工学会（青森市）
前川　正樹（臨床工学科・臨床工学技士）

第 29 回活動分析研究大会（甲府市）
下里　綱（リハビリテーション科・作業療法士）
漢那　誠（リハビリテーション科・理学療法士）
新里　光（リハビリテーション科・作業療法士）
嘉陽 伊美（リハビリテーション科・作業療法士）
小玉 桐子（リハビリテーション科・作業療法士）
上原　明梨（リハビリテーション科・作業療法士）
長嶺　早希（リハビリテーション科・作業療法士）
垣花　恵人（リハビリテーション科・作業療法士）
和田 安希子（リハビリテーション科・作業療法士）
名渡 山貴子（リハビリテーション科・作業療法士）

第 62 回定期総会・学術研究発表会（北中城村）
西尾　康孝（放射線科・放射線技師）

医療法人おもと会
大浜第一病院
〒900-0005
沖縄県那覇市天久1000 番地
TEL (098)866-5171
FAX (098)864-1874
WEB http://www.omotokai.or.jp/ohama1/
大浜第一病院HP

編集後記

Text: 総務課　安 里

梅雨も明け、また暑い季節が始まりました。
今年も水分を多めに摂りながら涼しい顔で仕事に励んでいます。
熱中症の発症は、屋内外を問いません。
皆様も水分をよく摂って、この夏を涼しくお過ごしください。

海外へ発信！日本の医療！

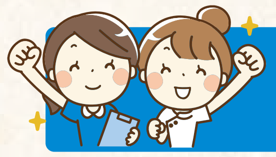
大腸肛門外科　仕垣幸太郎

３月３０日から４月１日まで環太平洋大腸肛門病学会 16th Asia Pacific Federation of Coloproctology と大韓大腸肛門病学会 50th Korean Society of Coloproctology が行われ，発表のために参加して参りました．

今回は“Cause of Rectovaginal fistulas and clinical outcomes” というタイトルで，直腸膣瘻の原因別の治療成績について報告いたしました．直腸膣瘻とは，直腸と膣の間に通路（瘻管）を形成してしまう病気であり，便やガスが膣から出てくるという症状がみられます．この病気の原因とその治療方法についての発表でした．

海外の学会に参加することで客観的に日本の医療を見つめ直すことができます．特に大腸肛門の分野では，日本の専門医の行う手術は世界の中でも高度な手術手技で行われていることが分かりました．さらなる技術の向上を目指すきっかけとなりました．

看護の専門性を高める「院内感染管理認定看護師研修会」の開催



「院内感染管理認定看護師研修会」修了式を迎えて

去る平成 29 年３月６日に、２年間に亘り開催した「院内感染管理認定看護師研修会」の終了式を迎える事ができました。受講動機の中で「基本的なことから学び現場で活用したい」「自信をもってスタッフに指導したい」と高い「意欲」と「志」を持った受講生９名が、無事「認定書」を授与いたしました。

研修内容は、「微生物」「耐性菌」「抗菌薬」「感染防止技術」「洗浄・消毒・滅菌」「ファシティマネジメント」「フル PPE 着脱トレーニング」など専門性の高い学習から実践的なシミュレーション技術まで幅広く学ぶことができました。研修中は、「テスト」や「発表（プレゼンテーション）」などもあり、学生の時以来のドキドキと緊張感で、皆必死に取り組んでいました。

今後は、各部署の感染リンクナース実践モデルとして主体的・能動的に活動すること、さらにスタッフへの指導・教育へ積極域に関わること、感染対策マニュアルを周知徹底すること等が重要な役割となってきます。私たち ICT も、感染リンクナースが自信をもって活動できるように、連携を密にし、支援し続けていきたいと考えています。

認知症予防のススメ ～たのしい脳（のーう）～

年齢を重ねることで、徐々に認知症のリスクは高まっていきます。
認知症予防に効果的といわれる、**運動、生活**の工夫をご紹介します。

有酸素運動が与える認知症への効果♪

持続的に酸素を体内に取り入れることで、酸素が多く脳に送られると脳が活発に働き、記憶力が増強され、認知症を予防することが出来ます。

具体的な有酸素運動♪

- ウォーキング
- ジョギング
- 水泳
- 水中ウォーキング
- ヨガ、ストレッチ
- 踏み台昇降運動
- エアロバイク などなど。

『楽しくおしゃべり』しながら歩くことで更に効果アップ♪

『笑顔』で更に効果アップ♪

生活の工夫

役割と日課

役割、日課をもって毎日規則正しく動きましょう。
役割を果たすことは快刺激となり脳活性に有効です。
支援する側は、役割を奪いがちです、ほめられること、頼りにされる機会が減少している高齢者にとって役割は重要なことです。

食　　事

ひとくち 30 回、よく噛んで食べましょう。

留意点　運動を継続出来るよう体を痛めない程度に無理なく行いましょう。